

注3

大学番号：532

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

徳島文理大学大学院 香川薬学研究科 薬科学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 村崎学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

企画部

企画部長 カマ鎌 ダ田 シン真 ジョウ城

電話番号 088-622-0097

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tokushima.bunri-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について(依頼)の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 村崎学園

(2) 大学名

徳島文理大学

(3) 大学の位置

〒769-2193
香川県さぬき市志度1314番地1

〒770-8560
徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)		
研究科長	(マキノ ユウジ) 牧野 悠治 (平成22年4月)	(マルヤマ トクミ) 丸山 徳見 (平成23年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
香川薬学研究科 薬科学専攻 修士(薬科学)	2年	8人	16人	基礎となる学部等 香川薬学部薬科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8人 (-) [-]	人	8人 (-) [-]	人	0.62 倍	
志願者数	9 (-) [-]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	9 (-) [-]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	8 (-) [-]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	7 (-) [-]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.87		0.37			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 7	[-] 0	[-] 3	[-] -	
2年次	/		[-] 7	[-] -	
3年次	/		/		
計	[-] 7	[-]	[-] 10	[-]	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [-] 0 人	(累積)計 [-] 7 人	0.0%
	うち平成22年度入学者 0 人	うち平成22年度 7 人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<香川薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択専門科目	天然医薬資源科学	1・2前		2		1						
	神経生理学	1・2後		2		1						
	創剤科学	1・2前		2		1						
	免疫制御学	1・2後		2		1						
	実験神経病理学	1・2前		2		1						
	分子解析化学	1・2前		2		1						
	脳疾患解析学	1・2前		2		1						
	有機立体化学	1・2後		2		1						
	薬物動態応用学	1・2前		2		1	—					
	予防衛生薬学	1・2後		2			1					
	分子細胞生理学	1・2後		2			1					
	創薬薬理学	1・2前		2			1					
	ウイルス制御学	1・2前		2			1					
	遺伝子生物化学	1・2後		2					1			
神経生物物理学	1・2後		2					1				
関連必修科目	薬学英語	1・2前	1				1					
必修専門科目	演習科目 薬科学演習 I	1・2通	4			$\frac{9}{8}$	$\frac{4}{5}$	2				
	実習科目 薬科学専門研究 I	1・2通	12			$\frac{9}{8}$	$\frac{4}{5}$	2				

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	15	0	18	3	15	0	18	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし						
------	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

7 その他全般的事項

<香川薬学研究科 薬科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 香川薬学研究科委員会。研究科長を委員長とし、創薬科学専攻19名、薬科学専攻15名で構成する。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 香川薬学研究科委員会を月1回開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大学院教育の資質の維持向上に対する方策検討・ 大学院教員の教育及び研究能力の評価の在り方・ 大学院教員の授業評価と授業改善 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主指導教員（<input checked="" type="checkbox"/>教員）の決定（再判定）・ 大学院生に対する授業アンケート実施予定・ 講座の枠にとられない高度な横断的授業の実施予定・ 香川大学大学院との連携における単位互換制度の活用した大学院生の派遣及び受け入れ予定 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 非<input checked="" type="checkbox"/>教員について再判定を実施する。・ 大学院生に対する授業アンケートを2年修了時に実施。・ 関連する複数の講座が1つのテーマを設定し、講義を連続して行う。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 香川薬学研究科委員会に全員参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学生による評価をもとに、大学院教育の在り方（授業改善等）について検討する。 <p>e 助教および助手の研究業績評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 助教および助手の研究業績基準を制定し、これに基づき個別評価を実施する。
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成18年度から新制度に基づく薬学教育が始まり、本学では、薬剤師の養成を目的とした6年制の薬学科と医療現場医学の薬学関連の多様な分野に進む人材の養成を目的とした4年制の薬科学科において教育が行われている。平成22年4月より、新制度の大学院教育を行うための薬科学専攻を修士課程として、従来の香川薬学研究科(入学定員8名)に設置した。平成22年度には7名、平成23年度には3名の入学生があった。設置の趣旨・目的を十分理解し、本学大学院の特色有る教育研究の環境を形成していきたいと考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成24年3月、教育研究業績書(アニュアルレポート)発刊予定

b 公表方法

- ・ホームページ及び報告書(刊行物)として発行

③ 認証評価を受ける計画

平成22年11月24日～26日、財団法人日本高等教育評価機構による評価を受審した。(別添資料1)

1. 評価の結果

【判定】

「評価の結果、徳島文理大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価規準を満たしていると認定する。」

【認定期間】

平成22(2010)年4月1日から平成29(2017)年3月31日までとする。

【条件】

「特になし。」

2. 次回の計画

未定。教育研究の質の向上をめざし、広く社会の支持が得られるよう教育研究活動に努めたい。

(注)・設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年度中)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.bunri-u.ac.jp/about/pub-info/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。